

校名：大船渡市立大船渡中学校

理由：

- (1) 第1回推進協議会において、両地区アンケートを取ることにし、令和元年7月、両地区の児童生徒（小5～中3）と保護者を対象にアンケートを実施した。その結果、両地区を合わせた児童生徒全体の約7割（68.8%）、保護者全体の約6割（60.2%）、末崎小・中学校の児童生徒の約三分の一が、校名は「大船渡中学校」が良いと答えた。この多くの人々の意見は尊重する必要がある。
- (2) アンケート結果では、子どもたちの意見は「大船渡中学校」の割合が一番多かった。子どもたちが自ら決した学校名とすることはとても重要で、価値がある。そうしたことにより、新設校で主体性と責任をもって、学校生活を送るようになると思う。
- (3) 他の多くの市町村と同様に、大船渡市にも市町村名を冠した「大船渡中学校」という学校が、市を代表する中学校の一つとして存在するべきであるという声が多い。また、両地区を包含できる校名は、新生「大船渡中学校」であろう。そのような学校を、次代を担う子どもたちのために、両町が協力して創っていくことを希望する。
- (4) 大船渡市の中学校も、今後3校（第一中学校、東朋中学校）になると思われることから、市を代表する学校として、また、生徒が「大船渡」という市の名と同じ中学校で学んだことを、卒業後の人生においても誇れる学校として「大船渡中学校」がふさわしいと考える。
- (5) 大船渡市にあるということが誰にも分かるような校名が良い。また、分かりやすく、親しみやすく、知名度があり、馴染みやすいことから、市町村名を付けた「大船渡中学校」が望ましい。
- (6) 大船渡湾を眼下に眺望できる素晴らしい環境と、両校の地域・父母・生徒の長い歴史や文化を引き継ぎ、大きな夢と希望を持って勉学に励み、心身を鍛えて大船渡市を代表する学び舎になってほしい。
- (7) 大船渡地区では、大船渡地区学校統合協議会、大船渡・末崎地区学校統合同協議会、大船渡・末崎地区学校統合推進協議会にわたり、この統合を行うのであれば、その校名を「大船渡中学校」とすることを一貫して提案してきている。

平成30年5月に、統合の方式等について、大船渡地区の保護者を対象に実施したアンケートの結果は「編入」が多かった。しかしその後、合同協議会（第1回：平成30年8月～第2回：同年10月）において、末崎地区から新設統合にしてほしいという要望に対し、大船渡地区では、両地区とも大船渡市にあるという意味で「大船渡中学校」を条件として提案した。そして、校名決定の際に候補となった場合、校名の候補として排除しないことを確認し、新設統合とすることに譲歩したという経緯がある。